東京大学の名物ゼミ、通称「バカゼミ」で有名な生田研究所の開催する「たまご落としコンテスト」とは、東京大学名誉教授、生田 幸士教授のもと厚紙とボンドのみを使いビル10階(約30メートル)から生卵を落としても割れない装置を作り、実際に落下させる科学実験です。知識や頭だけで考えるのではなく、実際に自分の手を動かして考え、挑戦し、成功や失敗をすることでより深い気づきや学び、人と違った考え方や発明が生まれる、との考えのもと開催されています。

■生田 幸士教授プロフィール

大阪大学栄誉教授、東京大学名誉教授、名古屋大学名誉教授。

医療用マイクロマシン、医療用ロボットの世界的先駆者。大阪大学で金属工学科と生物工学科を卒業、東京工業大学で世界初のロボット内視鏡の研究で工学博士。カリフォルニア大学研究員、東京大学専任講師、九州工業大学助教授、名古屋大学教授、東京大学教授を経て2019年定年後も、大阪大学で栄誉教授として研究継続中。(東京大学・名古屋大学名誉教授)2010年紫綬褒章を受章。NHK『課外授業ようこそ先輩』、『爆笑問題のニッポンの教養』、日本テレビ『世界一受けたい授業』などテレビ出演も多数。